

# きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 8月号

令和2年8月24日(月)

校長 成重純一

## 本年度前期の再開

新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は、2学期制となりました。今年の夏休みは、前期の途中に短縮されて設定されました。あっという間でしたので、お子さんに体験させたかったことも十分させてあげられずに終わったのではないのでしょうか。

保護者の皆様のご協力のおかげで、大きな事故の報告はありませんでした。ありがとうございました。これからも、感染防止と教育活動の両立ができるように、教職員一同、力を注いでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 熱中症予防のマスクのつけ方

夏休みに入る前に、子どもたちに、マスクのつけ方の指導をしました。「原則として、学校にいる時間だけでなく、登下校中もマスクをつける。」「ただし、両手を広げる距離に他の人がいない間は、外してもよい。」

新型コロナウイルス感染の予防だけでなく、熱中症も予防しなくてはなりません。引き続き、お子さんの健康管理をよろしくお願いいたします。



## カリキュラムの進行

本年度は、新型コロナウイルス感染防止による休校措置があったため、保護者の方は、カリキュラムの進行に不安を覚えていらっしゃるかもしれません。教育委員会は、「学習内容が重なる部分は、組み合わせで取り扱う。」「本来の取扱いの時期を変更する。」「一部の学習内容については、状況を見ながら次年度等に移行することも検討する。」との方針を立て、市内の小中学校は、これに沿って、できる限り年度内に指導が終われるようにカリキュラムを進めています。同時に、夏休みや冬休みを短縮して授業時数を確保していますので、ご安心ください。

## 本校の体験的行事について

本校では、6年生の修学旅行は、予定どおりに1泊2日で行い、5年生の自然教室は、日帰りで行います。

修学旅行では、「食事をするグループと入浴するグループの二つに分け、前半と後半で交代する。」「一つの部屋の宿泊人数を2名～3名とする。」「入浴も歯磨きも、部屋についている浴槽や洗面所で行う。」等の対策をとることにしています。一方、自然教室では、施設の構造上、食事、入浴、洗面、宿泊等で密になる状況を避けることができず、修学旅行に比べて共用部分が非常に多くなります。

それらを避けるために時間をかけて交代制にすると、活動プログラムを中止したり短縮したりしなくてはならなくなります。どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

